

令和2年度 第2回糸魚川市国民健康保険事業の運営に関する協議会  
会議録

日時：令和3年2月18日（木）

13時30分から14時30分

場所：糸魚川市民会館 3階

【協議会に付した案件】

1 議 事

- (1) 国民健康保険事業の概要について
- (2) 国民健康保険税の賦課について
- (3) 新型コロナウイルス感染症対応について

<出席委員>

十ノ目 ひで子	穂苅 千恵子	寺島 恵美子	梅田 慶一
竹内 利行	吉岡 京子	水島 喜代一	仲林 正之
原 直樹			

以上9名

<欠席委員>

久保田 一男	鈴木 修一郎	松永 勝栄	松浦 伯充
藤原 克朗	本田 秀明		

以上6名

<事務局出席職員>

渡邊市民部長

健康増進課：池田課長 林課長補佐 赤野国保係長

山岸保健係長 ト部健康づくり係長 真部主査

市民課：川合課長 石垣課長補佐 関澤市民税係長

## 《 会 議 録 》

### 1 開 会

○健康増進課長

### 2 挨拶

○市民部長

### 3 出席委員報告・議事録署名委員の指定

○健康増進課長

出席委員報告と、会議録署名委員の指定の前に1点報告をさせていただきます。

被用者保険を代表する委員の遠藤文雄様が人事異動により交代となります。後任として松浦 伯充 様を委嘱させていただいております。本日は都合により欠席の連絡を受けておりますので、よろしくお願いたします。

それでは出席委員の報告と、議事録署名委員の指定であります。本日の出席の委員につきましては、15名中9名の出席ということになります。委員の過半数の出席がありますので、協議会規則第三条第1項の規定によりまして、協議会は成立をしております。

会議録の署名については、被保険者を代表する委員から交代をお願いをしております。今回は十ノ目委員にお願いします。

## 《 欠 席 者 報 告 》

1号委員 久保田一男委員

2号委員 鈴木修一郎委員

3号委員 松永勝栄委員

3号委員 仲林正之委員

4号委員 松浦伯充委員

4号委員 藤原克朗委員

4号委員 本田秀明委員

#### 4 議事

##### (1) 令和3年度国民健康保険事業計画について

○事務局

資料No.1に基づき説明

##### 【質疑】

なし

##### (2) 令和3年度国民健康保険事業費について

○事務局

資料No.2に基づき説明

##### 【質疑】

なし

##### (3) データヘルス計画中間評価報告書について

○事務局

資料No.3に基づき説明

##### 【質疑】

○事務局

皆さんから意見が出ないようですので、事務局から議事について意見を伺いたいと思います。

資料21ページにあります、特定健診の受診率について、表にありますとおり平成28年から令和元年まで少しずつ上昇しておりますが、令和2年度ではコロナ禍の影響もあり、健診の機会がなかなか提供できない状況であったり、密を避けるという市民の皆さんのご判断もあつたりして、かなり落ち込んでいる状況であります。

これを踏まえまして、令和3年度の受診率の向上に努めていきたいと考えておりますが、受診率を見ますとまだ半分の方が受診をされておりません。特定健診は疾病予防の入り口でありますので、市としては受診率の向上を目指したいと考えておりますが、委員の皆さんから市の実施方法につ

いて改善点や受診率向上につながるアイデアがあればこの場でいただくと大変ありがたいのでよろしくお願いいたします。

○会長

私の職場では強制的に健診を受診させられました。食事指導から運動までさせられました。

○事務局

会社等に勤務されている方は受診してない場合には会社の方から受診するよう指導できますが、特定健診については、一般市民に対して受診勧奨はしますがそれに従っていただけない方もいらっしゃいます。

数年前にアンケートをとった内容では、受診する時間がとれない、健康に自信があるといったことで健診を受けない方がいらっしゃいましたが、決してそうではなくて、受診していただければ何かしらの疾病予防の意味があると思いますので、受診率を上げて市民の皆さんから疾病予防に取り組んでいただきたいと考えております。

そこで委員の皆様から、ご意見や良い方法があれば教えていただければありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

○委員

3年前くらいに信用組合さんが、特定健診を受けたことを証明できれば定期預金の利率がよくなるというものがありました。現在はやっていないようですが、そういったものがあると励みになるかもしれませんね。

○事務局

初めて聞かせていただきましたが、そういったことでも動機づけになると思いますので参考にさせていただきたいと思います。

○委員

受診率が減少した原因についてはリサーチしたものですか。例えば金額的な問題なのか、コロナ禍によるものなのか。言い方が悪いかもしれませんが、健診内容が充実していないというような、どんな理由かによって対応の仕方が変わると思います。

#### ○事務局

今年度については、前年に比べて7割程度の受診率であると見込んでおります。原因としましては、大きくは新型コロナウイルス感染症の影響で健診控えもありましたし、会場が市の保健センターでしたので、狭いために人数制限をして時間を延長したり、日にちの設定を増やしたりしましたが、人数をさばけなかったため、途中から予約制に変えたり周知が間に合わなかった部分があったと思われます。

来年度につきましては、最初から完全予約制としてある程度の人数に対応できるようにして、会場についても保健センター以外の場所でも受診できるように準備しております。

#### ○委員

健診といっても、一般的に健診と言われるものとは別に医療機関に定期受診されている方からの診療情報提供書により、健診を受けたとみなされる制度があります。今の話では集団健診の事だと思われませんが、個別健診や診療情報提供書による受診率はどうなっているのでしょうか。

#### ○事務局

診療情報提供書によるものは昨年度ですと303件あり、19の市内医療機関から情報提供書をいただいております。全体の約1割の方が情報提供による受診者となります。

個別健診に関しましては受診率が去年に比べて2倍から3倍くらいの数字となっております。

#### ○委員

その理由はどのように分析していらっしゃいますか。

#### ○事務局

理由としては、集団検診の時期が出遅れてしまったこと、予約制に変更となり受けられなかった方へ個別健診をすすめたことであると考えております。

## ○委員

先ほどの全体の受診率が落ち込んでいる理由として、コロナの影響があるとされていましたが、それとの関わりはないのでしょうか。集団検診ありきでこれから進めていってよいのか。

それからもう一つ、医師の立場から、一般の方の認識をもっと啓蒙していただきたい。健診とは隠れた病気を見つけることを健診と考えています。かかりつけ医を持っている方は、すでに病気を持っている方です。かかりつけ医を持っている方と持っていない方とを一緒にして健診という中に含めていくのはいかなものかと、常に考えています。

今でこそ個別健診や診療情報提供によるものが特定健診に替えられるのでまだ良いのですが、この制度がない時には、かかりつけ医で治療中の定期検査を当然行うわけで、この検査で行う内容は特定健診の項目をすべてカバーされているわけです。あるいはプラスされているわけですから、健診を行うとダブってしまうわけです。そうすると、病院で生活習慣病の治療されている方に健診の案内があると、本人が迷ってしまいます。日程の違いによって、病院で半年ぶりに定期検査しようと言っていると、この前市の健診をうけたばかりであるとお断りされてしまうことがあります。これは効率が悪いことですし、集団健診の結果は医療機関へ還元されていないですし、結果が出るまで1か月以上のタイムラグあるわけでありますので、なんとか説得している状況です。

特定健診とは新しい病気を発見するものであるもので、がん検診とペアを組んでもらえれば効果があると思います。特定健診単独で受診されると、かかりつけ医での診療内容と重複してしまうので意味がないような気がしますし、矛盾を感じます。

かかりつけ医で定期的に受診している方には、診療情報提供書がありますし、その方が詳しいデータとなっていますので、一般の方にもわかりやすいように啓蒙したらいかかでしょうか。新型コロナウイルス感染症については収まる予測を今の段階ではなさらずに、集団何々というものはやりにくくなっていくと思いますので是非検討をお願いします。

## ○事務局

私たちも先生からの診療情報提供書をいただくのが確実な情報であると認識しておりますので、各医療機関の先生方に診療情報提供書の依頼を

させていただくとともに、一般の方に啓発活動をしっかりやっていきたいと思っております。

集団検診については、過去の時代から中心に行ってきた流れがあるものですから、現在は特定健診の制度に変わっていますので、がん検診とあわせて皆様に周知していきたいと思っております。受診率については、医療機関にも健診にも受診されない方を健診へつなぐために力を注ぎたいというところも今回の中間評価に含めております。

#### ○委員

健診の予約についてですが、時間の予約もしているのでしょうか。数年前に集団検診を受診した際に、受付した後に時間がかかったものですから、日にちだけではなく時間も予約できるのでしょうか。

#### ○事務局

時間も予約することができます。

#### 5 その他

今後の予定

#### ○事務局

令和3年度第1回国民健康保険の運営に関する協議会は、今年度同様、秋を予定しています。

#### ○委員

マイナンバーカードが今度保険証として利用できるようになりますが、糸魚川市はどれくらいの方が取得されているのでしょうか。

#### ○事務局

当市のマイナンバーカード取得率は22%です。全国平均は25%、県内20市中ですと上から4番目くらいですが、まだまだ低い状況です。来年度には出張受付を予定しております。国としては令和5年3月末までにはすべての方に取得していただきたいとしておりますので、当市としましても努力していきたいと考えております。

## ○委員

取得率が低いということは、私も含めてですが、カードを取得する利点が理解されていないのではないかと思います。その話をしないと身に迫らないので広まらないのかなと思います。

## ○事務局

普及率の向上には利活用が重要であると考えております。全庁的にも検討をしておりまして、現在コンビニでの住民票、戸籍の取得をすることができます。取得状況を見ますと、高齢者のほうが取得率が高いので、顔写真付きの身分証明書としての利用がされていると考えております。また他市の状況を見ますと簡易な利活用の方法もありますので、参考にしながら本市としての利活用を検討していきたいと思っております。

## 6 閉 会

### ○会長代理

冒頭お話がありましたが、突然の大雪の状況でございますので、時間が若干短いように感じますが、これで閉会とさせていただきます。

### ○健康増進課長

以上を持ちまして令和2年度国民健康保険運営協議会を閉会します。本日は大変ありがとうございました。